

## 泌尿器科

### 1. スタッフ

科長（兼）教授 野々村 祝夫

その他、教授 1 名、准教授 3 名、講師 2 名、助教 5 名（兼任を含む。また、教授、准教授、助教は寄附講座を含む。）

### 2. 診療内容

泌尿器科疾患全般を受け入れている。臓器としては副腎、後腹膜、腎、尿管、膀胱、前立腺、精囊、尿道、精巣、陰茎、陰嚢であり、疾患種類としては悪性腫瘍、腎移植、男性機能（不妊症と性機能障害）、尿路結石、排尿機能となる。特徴としては、正確な診断のもとに適応基準を定め、ロボット支援手術を含めた体腔鏡下手術、小切開手術、レーザー手術、顕微鏡下手術等の低侵襲治療から抗癌化学療法、免疫療法、分子標的療法、前立腺放射線療法、手術等を組み合わせた集学的治療まで幅広く対応している。

### 3. 診療体制

#### (1) 外来診療：

月曜から金曜まで午前 3 診で一般外来を診ている。外来担当医は主に経験豊富な指導医が中心となっている。専門外来として、月曜午後に男性不妊、性機能・男性更年期、移植、前立腺、木曜午後に移植、排尿機能、腫瘍、金曜午前に放射線治療（前立腺センター）を開設している（表 1）。化学療法部と連携し、外来通院での抗癌治療も行っている。

#### (2) 入院診療：

全領域の泌尿器科手術に対応している。週 3 回の手術日には午前、午後にかかる大きな手術でも施行が可能であり、緊急性のある症例にも迅速に対応している。外来責任医（卒後 10 年以上の指導医）は、病棟担当医（卒後 6 年以上の専門医）と泌尿器科専攻医と共に日常診療を行いつつ、後進の指導に当たっている。

#### (3) 特殊検査：

すべての診察日に超音波検査、尿路内視鏡を施行している。特殊レントゲン検査は火・水・金曜午前に行っている。専門外来、特殊検査、特殊レントゲン、特殊排尿機能検査はすべて予約制となっている。

#### (4) 前立腺センター：

前立腺癌、前立腺肥大症に対し、迅速に対応すべく、当科、放射線診断科、放射線治療科の医師が共同で診療を行っている。前立腺癌診断部門、前立腺癌治療部門、排尿機能部門の 3 部門からなる。特に早期前立腺

癌に対しては、手術（ロボット支援腹腔鏡手術及び小切開を含む）、密封小線源、高線量率組織内照射、外照射（強度変調放射線治療を含む）、サイバーナイフ等の個別化治療が可能である。

### 4. 診療実績

#### (1) 外来診療実績：

疾患別外来患者数では悪性腫瘍の患者数が最も多くなっている。しかし、悪性腫瘍のみに偏ることはなく総合診療を行う大学病院として、前立腺肥大症など排尿障害、慢性腎不全に対する献腎（脳死）・生体腎移植、男性性機能や男性不妊症、尿路結石症、さらには尿路先天奇形、他診療科の尿路合併症など多岐にわたっている。悪性腫瘍では、前立腺癌、腎癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、精巣癌が主なものである。近年、腹腔鏡手術に力を入れており、最も適応症例として適している副腎腫瘍の患者も数多く紹介受診を受けている。平成 29 年の年間の外来患者数は延べ 22,386 人（新患数 664 名）であり、各月別受診者数は表 2 のとおりである。

#### (2) 入院診療実績：

年間入院患者数は 894 名で、主な疾患は、腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、前立腺肥大症、腎移植（提供者を含む）、男性不妊症、尿路結石症や副腎、後腹膜疾患、性分化異常、尿路先天奇形と多岐にわたっているのが特徴である。治療法は外科手術が中心になる。手術件数は 506 件であり、臓器別手術数では、腎（157 件）、膀胱（173 件）、前立腺（60 件）に対する手術が多数を占める（表 5）。腹腔鏡手術が 126 件（ロボット支援手術除）、ロボット支援腹腔鏡手術が 66 件と腹腔鏡手術が多くなっていることとロボット支援手術が増えていることが特徴である（表 4）。

#### (3) 検査件数：

尿路内視鏡、特殊レントゲン検査（逆行性腎盂造影法、ダブルピッグテイルカテーテル留置法、排尿時膀胱尿道造影法を含む）、その他尿路超音波検査、排尿機能検査、尿道拡張術など多数施行している。尿路内視鏡、泌尿器系超音波検査数を表 3 に示す。

#### (4) 先進医療：

前立腺肥大症に対するレーザー治療、前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下手術、密封小線源治療、サイバーナイフ、早期腎癌に対するロボット支援下腹腔鏡下腎部分切除術ないし腹腔鏡下腎部分切除術、小径腎癌に対する凍結療法を行っている。難治性尿路性器癌に対する新規抗癌化学療法や WT1 ワクチン療法を行

い、治療成績の向上を達成している。去勢抵抗性前立腺癌に対する HVJ ウイルス療法治験も行っている。一方、男性不妊症では、無精子症に対する顕微鏡下精子採取術を施行している。腎移植術は、腭腎同時移植を含め、新規免疫抑制療法を導入している。腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌の各段階における治験も数多く施行している。

## 5. その他

日本泌尿器科学会専門医教育認定施設、  
専門医数 24 名（大学院生含む）、指導医数 14 名

表 1 外来診療体制

曜日	診察室	午前	午後
月曜	1	○	生殖性機能（予約制）
	2	○	腎移植（予約制）
	3	○	前立腺（予約制）
	4	○	
火曜	1	○	
	2	○	
	3	○	
	4	○	
水曜	1	○	
	2	○	
	3	○	
	4	○	
木曜	1	○	
	2	○	腫瘍（予約制）
	3	○	排尿機能（予約制）
	4	○	腎移植（予約制）
金曜	1	○	
	2	○	
	3	○	
	4	○	
	6	前立腺 放射線 治療 (予約制)	

\* 特殊検査

超音波検査 月曜から金曜 午前  
排尿機能検査 木曜 午後  
尿路内視鏡 月曜から金曜 午前

表 2 平成 29 年の外来患者数（延べ人数）

1 月	1,892
2 月	1,730
3 月	2,093
4 月	1,777
5 月	1,796
6 月	1,930
7 月	1,854

8 月	1,863
9 月	1,730
10 月	2,003
11 月	1,731
12 月	1,987

表 3 外来検査・処置件数

尿路内視鏡	999
腎・膀胱・陰囊エコー	1,009

表 4 手術種別件数 総件数 506 (平成 29 年)

手術種類	件数	構成率(%)
内視鏡手術	165	33
腹腔鏡手術 (ロボット支援手術除く)	126	25
ロボット支援腹腔鏡手術	66	13
開腹手術	69	14

表 5 臓器別手術件数 総件数 506 (平成 29 年)

臓器	件数	内 訳	件数
腎	157	腎全摘除術	37
		移植提供腎摘除術	35
		腎部分切除術	26
		腎尿管全摘除術	19
		腎移植術	40
膀胱	173	膀胱全摘除術	21
		経尿道的腫瘍切除術	126
		他	16
前立腺	60	前立腺全摘除術	49
		HoLEP 手術	11
陰囊・陰茎	11	精巣精子採取術	1
		精巣摘除術など	5
		精索静脈瘤根治術	5
副腎 後腹膜	36	副腎摘除術	31
		後腹膜リンパ節郭清術	5
透析	26	シャント造設術	11
		CAPD チューブ留置	15
その他	43		43